

No.01

部課室	建設部維持課	事業名	道路維持事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している道路及び道路施設を良好な状態に保つように維持管理する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
185,875 千円	183,757 千円	△2,118 千円	183,757 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R5.10.1現在人口 : 378,786人		対象1人あたり	485 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、側溝清掃に係る業務委託料を見直して一部減額した。				

No.02

部課室	建設部維持課	事業名	道路修繕事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している道路及び道路施設を良好な状態に保つように修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
700,918 千円	683,118 千円	△17,800 千円	683,118 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R5.10.1現在人口 : 378,786人		対象1人あたり	1,803 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、施設修繕料を見直して一部減額した。				

No.03

部課室	建設部維持課	事業名	橋梁保全事業	事業区分	投資的事业
事業概要	老朽化が進む橋梁の長寿命化を図るために、補修及び耐震化を計画的に行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
261,500 千円	34,500 千円	△227,000 千円	34,500 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	市内橋梁数 : 910橋		対象1橋あたり	37,912 円
査定結果の理由等	<p>【令和5年度3月補正予算に一部組み替えて計上】</p> 事業内容及び要求額を精査した結果、工事請負費を見直して一部減額した。 また、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和5年度3月補正予算に組み替えて計上するため減額した。				

No.04

部課室	建設部維持課	事業名	水路維持事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している水路及び水路施設を良好な状態に保つように維持管理する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
178,970 千円	175,930 千円	△3,040 千円	175,930 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R5. 10. 1現在人口 : 378,786人		対象1人あたり	464 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、浚せつに係る業務委託料を見直して一部減額した。				

No.05

部課室	建設部維持課	事業名	水路修繕事業	事業区分	その他事業
事業概要	市が管理している水路及び水路施設を良好な状態に保つように修繕する。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
226,873 千円	224,873 千円	△2,000 千円	224,873 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R5. 10. 1現在人口 : 378,786人		対象1人あたり	593 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、施設修繕料を見直して一部減額した。				

No.06

部課室	建設部維持課	事業名	排水機場等施設整備事業	事業区分	投資的事业
事業概要	浸水被害を防ぐため市内各所に設置された排水機場等において、施設の老朽化によるポンプ停止等の重大事故の発生を未然に防止するために施設の整備補修を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)		3		11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
20,361 千円	20,361 千円	0 千円	20,361 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	浅井町東浅井ほか受益地区 : 1,370ha		対象1haあたり	14,862 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.07

部課室	建設部道水路管理課	事業名	道水路占用システム保守事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路上の電柱や電気・電話・ガス・上下水道の管路等の一定の施設の設置にあたっては、道路管理者として占用許可を出している。占用管理システムを通じて、これらの占用許可の情報を整理し、円滑な占用業務を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
990 千円	990 千円	0 千円	990 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	占用許可・承認工事件数 : 5,811件	対象1件あたり	170 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.08

部課室	建設部道水路管理課	事業名	道路管理システム保守事業	事業区分	その他事業
事業概要	窓口業務において、市が管理している道路幅員等の照会に対して、道路に関する複数の情報を管理するシステムを使用し、迅速かつ円滑な業務処理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
1,122 千円	1,122 千円	0 千円	1,122 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	道路管理情報利用者数 : 13,711人	対象1人あたり	81 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.09

部課室	建設部道水路管理課	事業名	道路台帳補正事業	事業区分	その他事業
事業概要	道路整備工事等により道路形状は変化している。毎年その状況を調査し、道路台帳図及び調書等を修正して道路の適正な管理を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)					11
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
30,349 千円	30,349 千円	0 千円	30,349 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	道路台帳年間照会者数 : 12,250人	対象1人あたり	2,477 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.10

部課室	建設部道水路管理課	事業名	狭あい道路対策事業	事業区分	その他事業
事業概要	狭あい道路とは、一般の交通の用に供される幅員4m未満の道路を指し、交通、安全、衛生上支障があるばかりでなく、地震や火災などの災害時には消防、救急活動にも影響を及ぼす。それらの道路について市が助成することで、狭あい道路の解消を促進し、生活道路としての機能を確保するとともに緊急車両の通行や消防活動など防災機能の確保をし、住環境の向上を図る。				
SDGs (持続可能な開発目標)				11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
771 千円	771 千円	0 千円	771 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	防火・準防火地区がある連区 : 131,481人		対象1人あたり	5.86 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.11

部課室	建設部道路課	事業名	生活道路改良事業	事業区分	投資的事業
事業概要	市民の日常生活に密着した道路(生活道路)について、道路構造物(側溝等)の改良を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
602,709 千円	582,350 千円	△20,359 千円	582,350 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R5.10.1現在人口 : 378,786人		対象1人あたり	1,537 円
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて事業内容及び要求額を検討した結果、一部減額した。				

No.12

部課室	建設部道路課	事業名	日光川2号放水路関連公共補償事業	事業区分	投資的事業
事業概要	日光川2号放水路事業は、日光川の支川である野府川や新丹波川の洪水を木曾川へ排水する県の事業である。この事業の公共補償により市道の付け替えのための用地を取得する。				
SDGs (持続可能な開発目標)			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
89,400 千円	30,077 千円	△59,323 千円	30,077 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	奥町連区・木曾川連区人口 (R5.10.1現在) : 48,799人		対象1人あたり	616 円
査定結果の理由等	県の事業進捗状況を踏まえて事業内容及び要求額を精査した結果、用地購入費を一部減額した。				

No.13

部課室	建設部道路課	事業名	名栗東橋整備関連公共補償事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	常願通1丁目地内の日光川にかかる名栗東橋付近の河川狭窄部を改修する県の事業である。この事業の公共補償により用地を取得する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
10,500 千円	10,500 千円	0 千円	10,500 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	宮西連区・今伊勢連区人口 (R5.10.1現在) : 37,819人	対象1人あたり	277 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.14

部課室	建設部道路課	事業名	一宮遊水地整備関連公共補償事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	日光川流域の瀬部地内に将来の河道改修の整備を実施する前段で、遊水地を整備する県の事業である。この事業の公共補償により市道の付け替えのための用地を取得する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
10,104 千円	10,104 千円	0 千円	10,104 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	西成連区・浅井連区人口 (R5.10.1現在) : 22,536人	対象1人あたり	448 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.15

部課室	建設部道路課	事業名	踏切道改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	当該踏切道は、今伊勢町馬寄地内の名鉄石刀駅南の東西市道であり、交通量が大変多く、歩行者の安全確保が必要である。歩行者が安全安心に通行できるように本事業により道路用地を取得する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
3,854 千円	3,854 千円	0 千円	3,854 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	今伊勢連区人口 (R5.10.1現在) : 26,469人	対象1人あたり	145 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.16

部課室	建設部道路課	事業名	幹線舗装改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	本事業は幹線道路延長282kmのうち主に1級幹線163kmの舗装を対象に、損傷程度を踏まえ計画的に保全及び改良を行う事業である。令和6年度は調査及び工事を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
420,000 千円	412,276 千円	△7,724 千円	412,276 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	一宮市R5. 10. 1現在人口 : 378,786人		対象1人あたり	1,088 円	
査定結果の理由等	【令和5年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 なお、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和5年度3月補正予算に組み替えて計上するため減額した。					

No.17

部課室	建設部道路課	事業名	生活道路舗装改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市民の日常生活に密着した道路(生活道路)について、道路舗装の改良を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)		3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
409,352 千円	411,352 千円	+2,000 千円	411,352 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	一宮市R5. 10. 1現在人口 : 378,786人		対象1人あたり	1,086 円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて事業内容及び要求額を検討した結果、一部増額した。					

No.18

部課室	建設部道路課	事業名	西御堂線歩道拡幅事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	本路線は自動車、歩行者が多く、歩道が狭い上段差があることから危険な歩道となっている。本事業により、歩行者が安全で快適に通行できる歩行空間を創出するため歩道を拡幅する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
45,000 千円	25,000 千円	△20,000 千円	25,000 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	萩原連区 R5. 10. 1現在人口 : 18,493人		対象1人あたり	1,351 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、工事の進め方を見直して一部減額した。					

No.19

部課室	建設部道路課	事業名	緊急輸送道路無電柱化事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市道0138号線は、市役所本庁舎(防災拠点)と市民病院(災害拠点病院)を結ぶ第3次緊急輸送道路に指定されており、災害直後から、避難、救助活動、救援物資の輸送のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線である。災害時の緊急輸送道路の機能を確保するため、市道0138号線の無電柱化を推進する。令和6年度は、本体工事(電線共同溝)を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
429,800千円	222,800千円	△207,000千円	222,800千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	1日の自動車交通量(R3交通量調査): 7,065台		対象1台あたり	31,535円	
査定結果の理由等	<p>【令和5年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額を精査した結果、工事延長を見直して一部減額した。 なお、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和5年度3月補正予算に組み替えて計上するため減額した。</p>					

No.20

部課室	建設部道路課	事業名	木曾川古知野線道路改築事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	本路線は、一宮市内の国道22号を経て江南市へ至る道路で、尾張北西部地域の東西軸を構成する幹線道路である。江南市側の用地取得及び整備が進められ、一宮市内が未整備のためミッシングリンクの状態となっている。ミッシングリンクの解消により、周辺部の企業立地の増加が促進され、雇用誘発などの様々な経済効果が見込まれる。令和6年度は、用地取得及び本体工事を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
75,150千円	75,150千円	0千円	75,150千円	0千円		
KPI	受益者など(見込)	西成連区R5.10.1現在人口: 34,013人		対象1人あたり	2,209円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.21

部課室	建設部道路課	事業名	ラウンドアバウト整備事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	当該箇所は(都)起明地線(市道0146号線)と(都)新一宮尾西線(市道0116号線)の交差点であり、近年重傷事故が発生しており、安全性の確保が急務となっている。ラウンドアバウトとして整備することで、重大な交通事故の減少等の効果が見込まれる。また、信号待ち時間の減少による環境負荷軽減や、災害などの停電時でも安全に通行ができる等のメリットがある。令和6年度は、路線測量、予備設計、交通量調査を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)		
10,600千円	0千円	△10,600千円	10,600千円	+10,600千円		
KPI	受益者など(見込)	1日の自動車交通量(R5調査): 5,989台		対象1台あたり	1,769円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.22

部課室	建設部治水課	事業名	緊急農地防災事業（大赤見地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	大赤見地内を中心に流れる大赤見用水の流域にある21haの農地などを大雨の被害から守るため、水路の整備を実施する。令和6年度は、ボックスカルバート工をL=108m施工する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
90,450 千円	90,450 千円	0 千円	90,450 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：21ha		対象1haあたり	4,307,142 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.23

部課室	建設部治水課	事業名	緊急農地防災事業（明地地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	明地地内において、農地などを大雨の被害から守るため、排水路の整備を実施する。令和6年度は、ボックスカルバート工をL=116m施工する。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
90,050 千円	90,050 千円	0 千円	90,050 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：28ha		対象1haあたり	3,216,071 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.24

部課室	建設部治水課	事業名	県営水質保全対策事業（新岩倉用水地区）	事業区分	投資的事業
事業概要	木津用土地改良区が管理する岩倉用水の用水管の老朽化を受け、県が実施する改修事業の費用の一部を負担する。令和6年度は、管水路工 L=540mの更新を行う。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
9,816 千円	4,910 千円	△4,906 千円	4,910 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	田んぼへの取水向上を図る区域：198ha		対象1haあたり	24,797 円
査定結果の理由等	負担金額に係る県からの通知に基づいて事業内容及び要求額を検討した結果、一部減額した。				

No.25

部課室	建設部治水課	事業名	県営水質保全対策事業（新光堂川地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	宮田用水土地改良区が管理する光堂川用水の用水管の老朽化を受け、県が実施する改修事業の費用の一部を負担する。令和3年度から工事着手。令和6年度は管水路工 L=672mを施工する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
15,758 千円	7,880 千円	△7,878 千円	7,880 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	田んぼへの取水向上を図る区域：163ha		対象1haあたり	48,343 円	
査定結果の理由等	負担金額に係る県からの通知に基づいて事業内容及び要求額を検討した結果、一部減額した。					

No.26

部課室	建設部治水課	事業名	県営たん水防除事業（新大江地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	大江排水機場は、築造後32年経過し老朽化が著しい。また、経年劣化による能力低下なども見受けられ早急な対策が必要である。このため、当流域のたん水被害対策として、排水機場を建て替えることにより、農業の安定化を図る。令和6年度は、吐出水槽2ヶ年（2年目）、機械設備4ヶ年（2年目）、上屋建築2ヶ年（1年目）を施工する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
5,156 千円	1,960 千円	△3,196 千円	1,960 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：180ha		対象1haあたり	10,888 円	
査定結果の理由等	<p>【令和5年度3月補正予算に一部組み替えて計上】</p> 負担金額に係る県からの通知に基づいて事業内容及び要求額を検討した結果、一部減額した。 なお、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和5年度3月補正予算に組み替えて計上するため減額した。					

No.27

部課室	建設部治水課	事業名	県営緊急農地防災事業（千間堀下流地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	千間堀川流域は、浸水被害が慢性的に発生しているため、河川改修を行い、流下能力を向上させ、被害の軽減を図る。令和6年度は【一宮市管理区間】排水路工 L=170mを施工する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
10,200 千円	29,820 千円	+19,620 千円	29,820 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	大雨の被害軽減を図る区域：210ha		対象1haあたり	142,000 円	
査定結果の理由等	負担金額に係る県からの通知に基づいて事業内容及び要求額を検討した結果、一部増額した。					

No.28

部課室	建設部治水課	事業名	県営用排水施設整備事業（萩原東部地区）	事業区分	投資的事業	
事業概要	突発的・局地的豪雨時の流域被害軽減のため、光堂川から準用河川新堀川へのバイパス水路を整備する。令和6年度は、測量及び設計を行う。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
10,500 千円	3,990 千円	△6,510 千円	3,990 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	大雨の軽減を図る区域：527ha		対象1haあたり	7,571 円	
査定結果の理由等	【令和5年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 また、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和5年度3月補正予算に組み替えて計上するため減額した。					

No.29

部課室	建設部治水課	事業名	農業農村多面的機能支払事業補助事業	事業区分	投資的事業
事業概要	農地が持つ多面的な機能の維持のため地域の活動や営農する活動に対して補助をする。				
SDGs（持続可能な開発目標）	2			11	
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）	
11,531 千円	11,531 千円	0 千円	11,531 千円	0 千円	
KPI	受益者など（見込）	農用地：285ha		対象1haあたり	40,459 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.30

部課室	建設部治水課	事業名	濃尾用水地区用排水対策協議会負担事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	平成24年度から用排水分離後の排水路（旧用水路）の維持管理に係る費用の一部、及び令和2年度から国営造成水利施設の管理体制に対する整備・強化の促進に係る費用の一部について応分の負担をする。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
22,002 千円	22,002 千円	0 千円	22,002 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	排水流域面積：2,171ha		対象1haあたり	10,134 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.31

部課室	建設部治水課	事業名	木津用水水管理対策協議会負担金事業	事業区分	投資的事業
事業概要	水管理実態を総合的に調査し都市化に対応した計画を樹立しその具体化を図る目的で関係市町が組織する協議会であり、令和2年度から基幹的農業用水利施設(国営造成施設)を管理する木津用水土地改良区の管理体制の整備・強化を図るため施設管理費の一部を負担する「国営造成施設管理体制整備促進事業」を実施している。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
133千円	133千円	0千円	133千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	対象となる田んぼの面積(一宮市): 126ha	対象1haあたり	1,055円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.32

部課室	建設部治水課	事業名	単独土地改良事業負担事業(木津用水土地改良区)	事業区分	投資的事業
事業概要	木津用水土地改良区が管理する岩倉用水は、施設の漏水や不具合が毎年のように発生している。農業用水の安定供給や漏水に伴う陥没事故を防止するため修繕を行う。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
158千円	158千円	0千円	158千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	岩倉用水の田んぼへの取水向上を図る区域: 199ha	対象1haあたり	793円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.33

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良事業補助事業(西成土地改良区)	事業区分	投資的事業
事業概要	西成土地改良区が管理する千間堀川の排水路及び用水路について、愛知県が事業主体となり整備する。西成土地改良区に対して、営農の安定化を図るため事業費の一部を補助する。令和6年度は管水路工L=1,300mを施工する。				
SDGs (持続可能な開発目標)	2		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額		
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
10,000千円	10,000千円	0千円	10,000千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	西成土地改良区流域面積: 508ha	対象1haあたり	19,685円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.34

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良事業補助事業（宮田用水利土地改良区等）	事業区分	投資的事業	
事業概要	宮田用水利土地改良区に対して、営農の安定化を図るため事業費の一部を補助する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
1,740 千円	1,740 千円	0 千円	1,740 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	田んぼへの取水向上を図る区域：156ha		対象1haあたり	11,153 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.35

部課室	建設部治水課	事業名	田園環境整備マスタープラン策定事業	事業区分	臨時事業	
事業概要	農村地域の環境保全に関する基本計画である田園環境整備マスタープランを見直す。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
3,000 千円	0 千円	△3,000 千円	0 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	一宮市R5.10.1現在人口：378,786人		対象1人あたり	0.00 円	
査定結果の理由等	計画策定の必要性は認められるものの、事業の実施方法を見直し、委託に係る経費の計上を見送った。					

No.36

部課室	建設部治水課	事業名	かんがい排水事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	水路の用排水能力を向上させるため、水路改修工事等を実施する。令和6年度は7地区施工する。					
SDGs（持続可能な開発目標）	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減（②-①）	③	増減（③-②）		
48,050 千円	48,050 千円	0 千円	48,050 千円	0 千円		
KPI	受益者など（見込）	水田への取水向上を図る区域：14.6ha		対象1haあたり	3,291,095 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.37

部課室	建設部治水課	事業名	農村総合整備事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	水路の用排水能力の向上かつ道路有効幅員を拡大するため、水路改修工事を実施する。令和6年度は7地区施工する。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2	3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
88,050 千円	88,050 千円	0 千円		88,050 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	対象地区人口 : 3,594人		対象1人あたり	24,499 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.38

部課室	建設部治水課	事業名	生活関連治水事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	水路の安定した機能を確認するため用排水路及び付属構造物の整備を行う。また、道路冠水等の浸水被害の軽減を図るための整備を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2	3		9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
680,090 千円	596,169 千円	△83,921 千円		596,169 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	一宮市R5.10.1現在人口 : 378,786人		対象1人あたり	1,574 円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて事業内容及び要求額を検討した結果、一部減額した。					

No.39

部課室	建設部治水課	事業名	土地改良施設維持管理適正化事業 (防災減災機能等強化対策)	事業区分	投資的事業	
事業概要	大和町妙興寺地内を流れる妙戸川の一部区間約800mは開渠水路であり、全6基の樋門のうち3基の電動化が完了し、1基が令和5年度に完了予定である。現在、操作員が手動により操作しており、水管理労力の軽減や流域の防災・減災を推進するため、樋門1基を電動化するもの。なお、当事業は市の負担割合が40%から25%に軽減される令和4年度創設の「防災減災機能等強化対策」を活用し実施するもの。					
SDGs (持続可能な開発目標)	2			9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
34,212 千円	34,212 千円	0 千円		34,212 千円	0 千円	
KPI	受益者など (見込)	対象地区人口 : 5,937人		対象1人あたり	5,762 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.40

部課室	建設部治水課	事業名	雨水排水路整備事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	丹陽町外崎地内は、度重なる浸水被害を受けており河川改修や浸水対策への要望が強い地域である。当事業は、都市再生整備計画区域内で施行される土地区画整理事業区域外を計画区域とし、準用河川千間堀川へ排水できるように経路を見直し、適切な断面を決定し、排水施設を整備するもの。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
25,000 千円	25,000 千円	0 千円	25,000 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	雨水排水路整備事業区域内の人口 : 1,106人	対象1人あたり	22,603 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.41

部課室	建設部治水課	事業名	河川等情報関連事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	市内の河川水位や雨量を情報発信するシステム「河川等水位情報」を安定的に運用する。また、木曽川上流河川事務所と一宮市が木曽川水系の情報を相互に利用できる「河川情報利用ネットワーク」を運用する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
48,154 千円	48,154 千円	0 千円	48,154 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	河川水位・雨量及び木曽川の状況観測箇所数 : 67か所	対象1か所あたり	718,716 円		
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.42

部課室	建設部治水課	事業名	流域貯留施設築造事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	河川への雨水流出を抑えるため、市内の公園のグラウンドを利用して一時的に雨水を貯留する施設を築造する。令和6年度は、引続き大平島公園と多加木公園の工事を継続し、新たに三ツ井公園で雨水貯留施設の築造工事に着手する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
936,000 千円	10,000 千円	△926,000 千円	10,000 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	丹陽町連区 及び富士連区 R5.10.1現在人口 : 37,889人	対象1人あたり	263 円		
査定結果の理由等	【令和5年度3月補正予算に一部組み替えて計上】 事業内容及び要求額が妥当であると判断した。 なお、要求額の一部について、国の補正予算に伴い令和5年度3月補正予算に組み替えて計上するため減額した。					

No.43

部課室	建設部治水課	事業名	準用河川千間堀川改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	準用河川千間堀川流域は、浸水被害が慢性的に発生しているため、河川改修を行い被害の軽減を図る。平成24年度から工事を着手し、令和6年度は、外崎土地区画整理事業の事業進捗にあわせて、外崎3号橋の架け替え工事を実施する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
150,000 千円	150,000 千円	0 千円	150,000 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	丹陽町連区 R5. 10. 1 現在人口 : 28,531人		対象1人あたり	5,257 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.44

部課室	建設部治水課	事業名	準用河川川崎川改良事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	準用河川川崎川流域は、浸水被害が慢性的に発生しているため、河川改修を行い被害の軽減を図る。平成24年度から工事を着手し、令和6年度はL=100mを施工する。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
93,339 千円	68,339 千円	△25,000 千円	68,339 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	奥町連区 R5. 10. 1 現在人口 : 14,096人		対象1人あたり	4,848 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、工事延長を見直して工事請負費を一部減額した。					

No.45

部課室	建設部治水課	事業名	浸水対策施設設置補助事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	浸水対策施設の設置に対し、一部を補助する事業で、雨水貯留浸透施設と防水板施設がある。雨水貯留浸透施設は、雨水を溜める貯留タンクや浄化槽転用貯留槽、雨水を地中へ浸透させる浸透ますや透水性の舗装があり、雨水の河川への流れ込みを一時的に抑制し、出水被害を軽減する効果がある。防水板施設は、宅地などの浸水のおそれがある出入口に設置し、大雨による浸水被害を軽減させる効果がある。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額		市長査定額			
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)		
2,982 千円	2,982 千円	0 千円	2,982 千円	0 千円		
KPI	受益者など (見込)	申請件数 : 27件		対象1件あたり	110,444 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					

No.46

部課室	建設部治水課	事業名	雨水ポンプ場修繕改築事業	事業区分	投資的事業	
事業概要	雨水ポンプ場は、地域の浸水被害軽減における重要な施設である。雨水ポンプ場の点検・調査、ポンプ井などのコンクリート建造物の耐震診断を実施し、機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るため、施設の適切な修繕・改築更新を実施するとともに、地震対策・耐水化対策を実施する。令和6年度は、小信ポンプ場の改築更新・地震対策の実施設計を行う。					
SDGs (持続可能な開発目標)				9	11	13
担当課室要求額	財政担当査定額			市長査定額		
①	②	増減 (②-①)		③	増減 (③-②)	
46,600 千円	46,600 千円	0 千円		46,600 千円	0 千円	
K P I	受益者など (見込)	小信排水区R5. 10. 1現在人口 : 14, 275人		対象1人あたり	3, 264 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。					